

## 毎日の家庭学習をより効果的なものにするために

～ 家庭と学校が連携しながら、児童生徒の発達の段階に応じた働きかけを進めましょう ～

今年度は10月26日(水)を基準日として実施した「山口県学力定着状況確認問題」では、例年、児童生徒に対する質問紙調査も行っています。その中で、山口県の児童生徒の家庭学習について、次のような現状が明らかになっています。

「平日に学校の授業以外で1時間以上勉強する」と回答した児童生徒の割合は、全ての学年で前年度に比べて増加している。その一方で、「自分で計画を立てて勉強する」と回答した児童生徒の割合は低くなっている。



今回は、毎日の家庭学習をより効果的なものにするために、家庭学習の計画を立てる際のポイントを二点、紹介します。

### 学習の計画は、できるだけ具体的なものにしましょう！

学習の計画は、まず大まかな枠ぐみを作り、それを少しずつ詳しくしていきましょう。最初は「月曜日は算数、火曜日は国語、…」というくらいの計画を立てておき、帰宅時刻や行事等が決まった時点で、「この日は、新出漢字を確実にマスターしよう」というように、より詳しいものに修正していくイメージです。計画が具体的になっていると、予定どおりに進んでいるかチェックするのも簡単です。取り組んだ内容や時間などを、記録として残しておくのもおすすめです。

小学生であれば、その日の授業の復習を基本として、「教科書〇ページの練習問題をやろう」というように量を決めるとよいでしょう。中学生であれば、授業の予習・復習だけではなく、「外国との交流という視点で、それぞれの時代の特色をまとめてみよう」というように、習得した知識や技能を自分なりに整理してまとめるといった学習にも挑戦してみたいものです。

### 学習の計画には、ゆとりをもたせておきましょう！

どんなによい計画を立てたとしても、実現不可能な計画では意味がありません。1週間に1日は計画を入れない日を入れるなど、ゆとりのある学習計画にしておくといよいでしょう。急な予定変更や体調不良などによって事前の計画どおりに実施できなかった場合でも、計画を変更することが可能になります。学校で出された課題以外の、自分の興味や関心に沿った学習を行うこともできるようになります。

家庭学習の在り方を見直す際には、各市町教育委員会や各学校が作成している「家庭学習の手引き」が参考になります。適切な学習時間や、取り組むとよい内容等、多くのヒントがあります。

主体的に家庭学習に取り組むことは、生涯にわたって学び続ける力を育むことにつながります。一人ひとりが自分なりに計画を立てて家庭学習に取り組み、必要に応じて改善していくことをめざして、家庭と学校が連携を図りながら、小学校低学年のうちから、発達の段階に応じた働きかけをしていきましょう。ご理解とご協力をお願いいたします。